

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 10

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ イニシアチブ参加による環境負荷低減 のためのサプライチェーン協働

フジシールグループでは安全と環境保全を重視し、自然との調和を常に意識しながら創造とチャレンジを繰り返し、住みよい地球環境への貢献を目指します。弊社では、プラスチックの資源循環に向けた包装容器の開発や上市を行う際には、サプライチェーン全体での協働が欠かせないものであると認識し、これらのイニシアチブや業界団体への参加をグローバルで積極的に行っています。環境レポートVol.10では、環境レポートVol.7に続き弊社が加入している環境関連イニシアチブについてご紹介します。

■ HolyGrail 2.0への参画

2020年10月(株)フジシールインターナショナルはHolyGrail 2.0イニシアチブに参画致しました。環境負荷低減ならびにパッケージの付加価値向上にもつながる本イニシアチブに対し、出資ならびに技術サポートを提供いたします。

HolyGrail 2.0とは欧州ブランド協会であるAIMが推進するサプライチェーン間のイニシアチブで、電子透かしの適用により分別回収率を向上させ、商業規模での資源循環の成功例となることを目指しており、市場に投入した製品での大規模な実証実験も計画しています。パッケージ表面に目には見えないコードを施し、それを高解像度カメラによって読み取るという電子透かし技術により、廃棄物分別の劇的な改善が期待されています。リサイクル工程において最も困難な課題とされているパッケージの材質を正確に特定することで、消費後の廃棄物をより高度に分別することができるため、結果としてより高純度な再生品を得るのに適したリサイクルプロセスを構築することができます。



環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 10

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループはHolyGrail 2.0での協働を通じて、当社の持つ印刷技術などさまざまな知見を活用し、より良い分別回収を可能とするパッケージを提供することで、資源循環を促進し、持続可能な社会を実現していきます。

※電子透かし技術について

人間の目では知覚できない切手サイズのコードを消費財のパッケージ表面に施すことで、例えば品名、製造業者、使用されたプラスチックの種類や組成、食品と非食品の区分など、幅広い属性を表現することができる技術。

※AIMについて

AIMは欧州ブランド協会であり、欧州のブランド消費財メーカーを代表して、ブランドの設計、流通、販売に影響を与える重要な問題について協議を行っています。AIMは、中小企業から多国籍企業まで、2,500社の企業を代表しており、企業および国内の協会メンバーを通じて直接または間接的に活動しています。

[HolyGrail 2.0イニチアチブ]

<http://www.aim.be/priorities/digital-watermarks/>

■ 各国リサイクル団体との連携

フジシールグループでは、HolyGrail 2.0との取り組みの他にも下記のようなリサイクル関連団体への参加を行っています。各国のリサイクルの仕組みに深く関わりながら、リサイクル可能な包材設計など循環型社会の実現に関する取り組みをグローバルに推進しています。

● プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会は、プラスチック容器包装の3Rを推進する特定事業者の団体及び企業を会員とする事業者団体です。(株)フジシールでは、ブランドオーナーの皆様と詰め替えパウチやシュリンク台紙など様々な3R・環境配慮設計を推進しており、本協議会及び業界各社と足並みを揃えてプラスチック包装の合理的なリサイクルシステムの構築、3Rの推進を展開しております。

[プラスチック容器包装リサイクル推進協議会] <http://www.pprc.gr.jp/>

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 10

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

● The Association of Plastic Recyclers(APR)

APRはプラスチックのリサイクルを推進する国際的なプラスチックリサイクル協会として、独自の認証プログラムを持ち、リサイクル性を確保した循環経済のサポートを行う業界団体です。American Fuji Seal, Inc.ではこのAPRとの取り組みにより、ペットボトルと一緒にリサイクルが可能なRecShrink™ラベルを開発し、ラベルも容器とともにリサイクルすることで、使い捨てプラスチックの削減に貢献しています。今後も、より環境負荷の低減を目的とした製品の開発を通じ、循環型経済の発展に貢献します。



The Association of Plastic Recyclers

[The Association of Plastic Recyclers] <https://plasticsrecycling.org/>

● Petcore Europe

Petcore Europeはブリュッセルに拠点を置き、PETの製造から包装材への転用、リサイクルなど欧州におけるPETのバリューチェーン全体を代表する団体です。Fuji Seal EuropeではこのPetcore Europeに参加し、PETに関する欧州地域での循環型経済の実現についてサプライチェーン全体で取り組んでいます。直近ではRecShrink™の欧州地域での採用に向けた協議を実施し、PETボトルとPETフィルムを資源循環へ発展させる活動を推進しています。



[Petcore Europe] <https://www.petcore-europe.org/>

フジシールグループでは気候変動や海洋プラスチックごみ問題、資源枯渇など環境課題を解決する為、資源循環を目指すこれらのイニシアチブを通じて、パッケージの立場からサプライチェーン全体での技術開発に貢献します。また、これらのイニシアチブでの活動には制度上の課題解決や新たな規制策定に関与する取り組みもあり、これらの一端を担うことで社会全体の持続可能性を追求します。ラベルで提供できる付加価値を高めるべく、今後とも新製品の開発を推進し、サプライチェーン全体で社会課題の解決に努めます。